

登録コード	A3596482	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究Ⅲ					担当教員	松浦 朝奈	
英文授業名	Thesis ResearchⅢ							
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	研究室所属の学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	専門的な知識や研究能力を修得している		
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している		
	2 0 2 6 A3編（24A），2 0 2 5 A3編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している		
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	研究テーマをもとに，実験を実施し，発表までを行います。 実験を実施しながら，自分が得たスキルなどを3年生に適切に伝えてください。 人に教えるということを通じて，自分の理解度を確認できますし，コミュニケーション能力を高めることもできます。							
(5)授業計画	1．持続可能な栽培方法における作物の生産性向上 環境保全型栽培の長所と短所を明確にし，雑穀，ソバ，大豆の生産性向上のためにはどのような要因が関係するかを考察します。 2．環境ストレス耐性機構の解明 土壌乾燥，高塩濃度，湿害などに対して，作物の成長や収量は大きく低下します。 しかしながら，雑穀，ソバ，大豆の耐乾性，耐塩性，耐湿性の詳細については不明な点が多くあります。 雑穀，ソバ，大豆の環境ストレス耐性の解析について考察を深めます。 3．雑穀，ソバ，大豆資源の探索と保存 世界各地から遺伝資源を収集・保存し，特性調査を行います。未来の地球に適した作物の遺伝資源の確保について，積極的に遺伝資源の保存と調査を行い，データベース化までの過程について学びます。 4．新しい品種育成 遺伝子組み換えや，遺伝子編集に頼らない，環境ストレス耐性や消費者ニーズのある雑穀，ソバ，大豆の品種育成に挑戦する方法を学びます。 調査については，研究室がワンチームとなって助け合いながら進めていきます。 最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。							
(6)自主学習の指針	大学の授業科目の中でもっとも自主学習が求められるものですから，しっかり自覚して取り組んで下さい。分からないこと，不慣れなことなど，研究を進める上での障害は多数あるのが当然ですから，不明・疑問の点などはいつでも相談してください。							
(7)成績評価の基準	1) 課題に対する興味や知的好奇心，やる気：2 0 % 2) 情報の検索・収集能力：2 0 % 3) 作物の栽培，実験の遂行：3 0 % 4) データの解析，結果の取りまとめ，考察，発表：3 0 %							
(8)事前事後学習の内容	事前学習としては，調査・研究に当たり，関連の教科書・論文等を適時収集して読むことが求められます。調査については，研究室がワンチームとなって助け合いながら進めていきますので，教員および研究室メンバーとはコミュニケーションがとれるようにしておいてください。 事後学習としては，実験結果についてとりまとめを行い，結果の妥当性などを関連論文と比較検討し，研究室メンバーと議論してください。							
(9)テストやレポートの予定	テストは行いません。							
(10)成績評価の方法	作物を目的に応じて栽培するためには，日常的に研究室へ来る必要があります。 土曜日と日曜日は，原則として，生活リズムを整えるなど自分で考えて適切に行動してください。 上記の生活を基礎として，後期では，実験の実施から発表までを「成績評価の基準」に従って総合的に評価します。 100点満点で，90点以上を秀，80点以上を優，70点以上を良，60点以上を可，60点未満を不可とします。							

(11)質問、相談への対応および連絡先	随時相談に応じます。
(12)履修上の注意	積極的に学習してください。
【教科書】	指定しません。
【参考書】	指定しません。